

ジャズギター

エンディング虎の巻

セッションで使用する完全網羅の165パターン

池元 隆通 著

ジャズギター「エンディング虎の巻」 CONTENTS

はじめに	4
本書の使い方	5

第一章 万能エンディング

1 Medium Tempo～Up Tempo	8
① I-I7-IV-#IVdim7	8
② #IVm7 ^(b5) から下がって来るエンディング(その1)	10
③ #IVm7 ^(b5) から下がって来るエンディング(その2)	12
④ I-II m7-#II dim-Iと進行するエンディング	14
⑤ I-II m7-#II dim-Iのエンディング(2音バージョン)	16
⑥ ♭III7 から下がってくるエンディング	17
⑦ IV7 から下がってくるエンディング・パターン	18
⑧ Iから♭IIIまで上がり戻ってくるエンディング	19
⑨ The 定番	20
⑩ マイルス・エンディング	21
⑪ スピーディな曲に合うエンディング	22
⑫ 4度進行していくエンディング	23
⑬ ♭VII7 から上がっていくエンディング	23
⑭ ①と④を組み合わせたエンディング	24
⑮ パツと終わっちゃうエンディング集	25
⑯ エンディングを付けない	28
⑯ その他、覚えておくと良いネタ	33
⑯ マイナー曲のエンディング	34
2 Ballad	35
① ♭IIIから下がってくるエンディング	35
② #IVm7 から下がってくるエンディング	37
③ #VII M7 から4度進行するエンディング	38
④ ♭VII M7-♭II M7 と転回するエンディング	39
⑤ II m7-V7 のコードフレーズ的なエンディング	40
⑥ マイナー曲のエンディング	41
3 Bossa Nova	42
① I→♭VII7 を繰り返すエンディング	42
② I→♭II7 を繰り返すエンディング	43
4 Waltz	44
① I→♭VII7 を繰り返すエンディング	44
② I→V7 を繰り返すエンディング	45

第2章 定番エンディング

1 Up Tempo(メジャー・キー)の定番エンディング	48
① (#9)が効果的なエンディング	48
② 転調が効果的なエンディング	48
③・④ イントロと同じフレーズを用いたエンディング(その1)～(その2)	49
⑤・⑥ あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング・パターン(その1)～(その2)	50
⑦ フレーズを付け足して終わるエンディング	51
⑧・⑨ あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング・パターン(その3)～(その4)	52
⑩ トニックに解決する前に半音上のコードをはさむエンディング	53
⑪ メロディーのラスト4小節を繰り返すエンディング	53
⑫ シンプルに終わるエンディング	54
⑬ シャッフル曲のブルージーなエンディング	54
2 Medium Up Tempo(マイナー・キー)の定番エンディング	55
① イントロのリフを使ったエンディング例	55
② メロディーのラスト2小節を繰り返すエンディング	55
③ II-Vを繰り返し、解決していくエンディング	56

④ Im→V ₇ を繰り返すエンディング	56
⑤メロディーのラスト2小節を繰り返し、最後は倍のサイズにするエンディング	57
⑥あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング	58
⑦続くと見せかけて終わってしまうエンディング	58
⑧モード系の曲でのエンディング	59
⑨イントロのパターンを利用したエンディング	59
⑩一定のコード進行を繰り返すエンディング	60
⑪コードが下降していくエンディング	60
⑫・⑬あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング(その1)～(その2)	61
3 Ballad(メジャー・キー)の定番エンディング	62
①・②・③テーマのメロディーの一部をモチーフにしたエンディング(その1)～(その3)	62～63
④ブルージーなエンディング	63
⑤・⑥・⑦・⑧・⑨あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング(その1)～(その5)	64～67
4 Ballad(マイナー・キー)の定番エンディング	67
5 Bluesの定番エンディング	68
①②最後のメロディーを繰り返すエンディング(その1)～(その2)	68～69
③メロディーの一部を応用するエンディング	69
④イントロを用いたエンディング	70
⑤メロディーの最後の4小節を繰り返して終わるエンディング	71
⑥メロディーの最後の2小節を繰り返して終わるエンディング	71
6 Waltzの定番エンディング	72
①5度ペダルを使うエンディング	72
②ラストのメロディーを繰り返し ^b VI _M 7にいくエンディング	73
7 Mamboの定番エンディング	73
8 Bossa Nova(メジャー・キー)の定番エンディング	74
①マイナーな感じで終わるエンディング	74
②ラストを3回繰り返すエンディング	74
9 Bossa Nova(マイナー・キー)の定番エンディング	75
①イントロをそのまま使ったエンディング	75
② Im ₇ -V ₇ を繰り返すエンディング	75
③・④あらかじめ譜面に書いておいたり、打ち合わせで決めておくエンディング(その1)～(その2)	76
⑤5度を変化させるエンディング	77
10 Shuffleの定番エンディング	77
11 Rumbaの定番エンディング	78
①イントロを応用したエンディング	78
② I-VI _M 7-II _M 7-V ₇ のコード進行を利用したエンディング	78
③ラスト2小節のメロディーを3回繰り返すエンディング	79
12 Sambaの定番エンディング	80
① I-V ₇ を繰り返すエンディング	80
②一定のフレーズを繰り返すエンディング	80
13 Calypsoのエンディング	81
①・②メロディーの最後の4小節を3回繰り返すエンディング(その1)～(その2)	81
14 Afroのエンディング	82
①トニックコードのフレーズを繰り返すエンディング	82
②5度のペダルを利用したエンディング	82
③ I ₇ - ^b VI ₇ を繰り返すエンディング	83

第3章 エンディング直前の循環コード・パターン

Up・Medium Tempo(Major Key)	86
Up・Medium Tempo(Minor Key)	88
Slow Tempo(Major Key)	89
Slow Tempo(Minor Key)	91

第4章 循環時に、エンディングに行くと示唆するフレーズ

Key-C	94
Key-E ^b	96

第5章 実例編

(1) Fly Me To The Moonでの実例	100
(2) My One And Only Loveでの実例	102

はじめに

セッション等で、とりあえず曲がスタートしたけれど、終わる間近になって『どうやって終わろう？』『誰かなんとかして～？』と思いながら何となく終わらせてしまった経験はありませんか？（笑）

本書はそんな時に困らないようにエンディングネタをタップリと用意しました。

エンディングは自由度が高く、『終わり感』ができれば何でも良いのですが、本書では応用しやすい汎用的な例を意識して掲載しました。

わたしの前書『イントロ虎の巻』と同様に、細かい理論の説明は省き、『習うより慣れろ！』的な発想になっています。

なお、使用できる曲例を記載していますが、一例に過ぎませんので、他の曲の例になっているエンディングを組み合わせたりして、『これもありだな！』とじてみて下さい。

楽しいですよ！

池元 隆通

本書の使い方

本書のほとんどのエンディング例は、曲のメロディが解決するところ、つまり最後のトニックコード (I) に解決するところから弾くという前提で書いています。

本書では、内容を大きく5つの章に分けています。

第1章は、多くの曲で使える、**万能エンディング**。

これらはエンディングのタイプを以下の4つに分類しています。

① **Midium ～ Up Tempo**

② **Ballad**

③ **Bossa Nova**

④ **Waltz**

1 エンディング例をいくつかのキーで紹介しています。

第2章は歴史上のジャズ・ミュージシャンの名演奏や、セッションでお約束になっている**定番エンディング**。

1 エンディング例につき1つのキーで紹介しています。

第3章は、エンディングと同じくらい重要な、**エンディング直前の循環コード・パターン**をいくつか紹介しています。

第4章は、逆循環でアドリブ中にエンディングに持っていけるように、**逆循環の時に、エンディングに行くとき示唆するフレーズ**を紹介しています。

第5章は、本書で紹介してきたエンディング例や循環コードパターン、フレーズを実際の楽曲でどのように使うかを、**実例編**として、

「Fly Me To The Moon」

「My One And Only Love」

を実例にあげて説明しています。

第1章 万能エンディング

この章で紹介するエンディングは、セッション、ライブ等で汎用性があるだろうというものを載せています。使用できる曲が書いてありますが、多くが入れ替え可能ですので、各自いろいろと試して楽しんで下さい。

1 Midium ~ Up Tempo

① I - I₇ - IV - #IVdim₇

in C

❖この曲に使える 『All Of Me』『In A Mellow Tone』

in E^b

❖この曲に使える 『But Not For Me』『Heart And Soul』『The Five Pennies』

in F

❖この曲に使える 『Just Friends』『What Kind Of Fool Am I?』

in G

$G_6^{(9)}$ $G_7^{(9)}$ $CM7$ $C^{\#dim}$ G/D $G_7^{(13)}$

❖この曲に使える 『East Of The Sun』『I'm Beginning To See The Light』

in B $\flat$

$B_6^{(9)\flat}$ $B_7^{(9)\flat}$ $E^{\flat}M7$ E^{dim} $B^{\flat}/F$ $B_7^{(13)\flat}$

❖この曲に使える 『Falling Love With Love』『When You Are Smiling』『You'd Be So Nice To Come Home To』

第2章 定番エンディング

この章では、歴史上のジャズミュージシャンの名エンディングや、セッションなどでよく使われる定番エンディングを紹介します。

1 Up Tempo (メジャー・キー) の定番エンディング

① (#9)が効果的なエンディング

Music score for 'Up Tempo' (Major key) ending with a #9 chord. The score is written for guitar (T) and bass (B) in 4/4 time. The melody (T) starts with a whole note chord E^b7, followed by eighth notes. The bass line (B) consists of quarter notes. The key signature has three flats (B-flat, E-flat, A-flat). The ending features a D^b7(#9) chord, followed by a C7(#9) chord, and ends with a C7(#9) chord.

❖この曲に使える 『All The Things You Are』

② 転調が効果的なエンディング

Music score for 'Up Tempo' (Major key) ending with a key change. The score is written for guitar (T) and bass (B) in 4/4 time. The melody (T) starts with a whole note chord B^b, followed by eighth notes. The bass line (B) consists of quarter notes. The key signature has three flats (B-flat, E-flat, A-flat). The ending features a series of chords: G^b/A^b, A^b, D^b/A^b, A^b, G^b/A^b, A^b, D^b/A^b, and A^b7. The final chord is A^b7.

❖この曲に使える 『In Your Own Sweet Way』

第3章

エンディング直前の循環コード・パターン

エンディングに進む前に、最後の数小節を繰り返したり、一定のコードパターンを繰り返したりする事があります。曲の最後を盛り上げたり、余韻を持たせる効果があります。

ここでは、そのパターンを紹介します。

Key-Cで統一して表記しています。

●パターン①

テーマ ————— ↓

II m7	V 7	III m7 ^(b5) (III m7)	VI 7
D m7	G 7	E m7 ^(b5) (E m7)	A 7

• II m7	V 7	III m7 ^(b5) (III m7)	VI 7	•
• D m7	G 7	E m7 ^(b5) (E m7)	A 7	•

II m7	V 7	～エンディング
D m7	G 7	

○逆循環といわれるコード進行で、
最も良く使われるパターンでしょう。

●パターン②

テーマ ————— ↓

II m7	V 7	I	VI m7	II m7	V 7
D m7	G 7	C	A m7	D m7	G 7

• I	VI m7	II m7	V 7	•	～エンディング
• C	A m7	D m7	G 7	•	

○I - VI - II - Vの循環のコード進行です。

●パターン③

テーマ ————— ↓

II m7	V 7	• II m7	V 7	•	～エンディング
D m7	G 7	• D m7	G 7	•	

○テーマの最後のメロディを繰り返す時に使われます。

第4章

逆循環の時に、エンディングに行くと示唆するフレーズ

エンディング前の逆循環でのアドリブ中に、終わりにしたいけれど、それらしいフレーズが弾けず延々と弾いてしまった経験はないでしょうか？

ここでは、そんな時に困らないよう「エンディングにいきますよ的」なフレーズをいくつか紹介します。

ここではKey-Cに加え、Key-E^bでも書いておきます。

Key-C

①

①

Chords: Dm7, G7⁽¹³⁾, Em7, A7⁽¹³⁾, A7⁽⁹⁾, Dm7, G7⁽¹³⁾, G7⁽¹³⁾, C6⁽⁹⁾

~エンディング

②

②

Chords: Dm7⁽⁹⁾, G7, Em7⁽¹¹⁾, A7, Dm7, G7, C

~エンディング

第 5 章 実例編

最後にこれまで紹介してきたフレーズを使って、実際の曲中での使用例を紹介します。

曲はジャムセッションでよく演奏される

『Fly Me To The Moon』

『My One And Only Love』

を使って説明します。

(1) Fly Me To The Moon での実例

ジャムセッションで読者（ギター）がメロディを弾いていると仮定した場合で説明します。

『Fly Me To The Moon』の最後の4小節は以下の通りです。



まずは、エンディング直前の循環コード・パターンを考えます。
ここではパターン① (70 ページ) の逆循環を使ってみましょう。
ここでもう一度パターン①を紹介します。

●パターン①

テーマ

II m7	V 7	III m7 ^(b5) (III m7)	VI 7	
: II m7	V 7	III m7 ^(b5) (III m7)	VI 7	:
II m7	V 7	~エンディング		

これを当てはめると、

→ このあたりから少しメロディをくずし逆循環に行く意思表示。
Em7^(b5) のコード感のあるm3rdの音などにもっていく。

ad lib.

x times repeat

~エンディング

となります。

アドリブを終え、エンディングにもって行きたくなったら、「エンディングに行きますよ」的なフレーズを弾きます。

ここでは第4章の①を使うことにします。そしてエンディングに向かいます。

エンディングは第1章の④を使うとして、まとめると次のようになります。